

## 令和元年度（平成 31 年度）「学生による授業評価アンケート」の結果について

### 1. はじめに

東京都立産業技術高等専門学校では、各教員の教育能力を高めることを目的にした取り組みの一環として、平成 21 年度から「学生による授業アンケート」を継続して実施している。本年度も、全授業を対象として実施したので結果をここに報告する。

### 2. アンケートの実施概要・内容・形態

#### (1) アンケートの実施概要

- ◎ 調査目的：授業の実態を各教員が把握し、それぞれの授業改善への努力に役立てること
- ◎ 調査対象：産業技術高専で開講している本科及び専攻科の全授業

#### (2) アンケート内容

座学系は質問 1 のみ、実技・実習系は質問 1, 2 が学生の自己評価で、それ以降が授業の評価である。

#### <座学系>

- 質問 1：授業時間外でもこの科目の勉強をするように努めた
- 質問 2：授業中、勉強をしやすい雰囲気があった
- 質問 3：講義の仕方が明瞭でわかりやすかった
- 質問 4：板書や掲示資料は見やすかった
- 質問 5：授業の中で授業内容、言判面方法等(シラバス)についての説明があった
- 質問 6：授業内容や評価方法はシラバス通りに適切であった
- 質問 7：総合的にこの授業には満足できた
- 質問 8：教科書・指導書・プリントは役に立つ教材であった
- 質問 9：この授業によって、この科目に対する力がついた(達成感があった)
- 質問 10：教員は学生の方に視線を向けて話していた
- 質問 11：この授業によってその関連する教科に興味や必要性を感じることができた

#### <実技・実習系>

- 質問 1：実技や実習に遅刻することなく積極的に取り組んだ
- 質問 2：実技や実習にふさわしい服装で臨んだ
- 質問 3：教員は装置や器具の使用方法を適切に指導していた
- 質問 4：提出した課題等に対して十分なコメントが返ってきた
- 質問 5：授業の中で授業内容、言判面方法等(シラバス)についての説明があった
- 質問 6：授業内容や評価方法はシラバス通りに適切であった

質問 7：総合的にこの授業には満足できた

質問 8：教科書・指導書・プリントは役に立つ教材であった

質問 9：この授業によって、自分の技術力・能力が上がったと感じた

質問 10：教員は学生の方に視線を向けて話していた

質問 11：この授業によってその関連する教科に興味や必要性を感じる事ができた

### (3) 回答方法

上記質問に対し、評価が肯定／否定のどちら寄りであるのかを明確にするために、学生は下のような 4 段階で回答し、評価点数は①を 1 点、②を 2 点、③を 3 点、④を 4 点とした。

① あてはまらない    ② あまりあてはまらない    ③ ややあてはまる    ④ あてはまる

### (4) アンケートの実施形態

学生は、学生版の校務支援システムにログインして「授業アンケート」へと進み、自分が履修している科目について上記の質問に回答した。また、自由意見があればそれを記入した。尚、回答に際しては、各自の ID でログインしているが、アンケートの回答と記入者を結び付けることはない旨を伝えている。

学生がアンケートに回答すると、その結果は直ちに校務支援システム上の教員ページの「アンケート集計結果」に反映され、各教員は自身の授業の実態を把握できる。

## 3. アンケートの結果

表 1 および表 2 に本科の座学系科目、実技・実習系科目各々における授業評価アンケート結果を示す。表において評価値は集計結果の平均値を示し、「4」が最高で、数字が大きいほど肯定的な回答であることを示す。質問項目のほぼ全てにおいて平均値が「3」を越えており、本校における授業が一定の水準以上になるよう、各教員が努力を続けていると言える。また、同じ質問項目に対する評価値は一般科目、専門工学コース毎に若干の差が見受けられるものの大きなばらつきは無い。ただし、質問項目 5（シラバスについての説明があったか）における回答は「4」であるべきだが、それを若干下回っている。各教員はシラバスについて説明を行っているが、学生に十分認識させていない可能性があり、今後さらに説明を尽くす必要がある。

図 1 および図 2 に本科の座学系科目、実技・実習系科目全体のアンケート結果のレーダーチャートを示す。図 1（座学系科目）において、各質問項目についての評価値は「3」を超えており、良好な結果となっている。ただし、例年同様、質問項目 1 の「授業時間外でもこの科目の勉強をするように努めた（復習など）」に対する自己評価値がやや低く、学生の学ぶ姿勢を向上させる努力に関して、さらなる工夫の余地がある。自宅学習に e ラーニングの手法を取り入れる等の工夫も検討していく必要がある。図 1 と図 2 を比較すると、座学系に比べて実技・実習系の評価値が総じて高く、高専の特色がよく表れていると言える。しかしながら図 2 において、他の全ての評価値が高い中で、質問 11 の「この授業によってその関連する教科に興味や必要性を感じる事ができた」の評価値が少々低い結果となっている。その実技・実習の内容が他の科目にどのように関連しているか、どのような意味

を為しているか等を理解させる努力が一層必要であると考える。

表1 座学系科目の授業評価アンケート結果

質問番号	質問内容	科目分類												
		一般科目(理系)		一般科目(文系)		機械システム工学コース	生産システム工学コース	電気電子工学コース	電子情報工学コース	情報通信工学コース	ロボット工学コース	航空宇宙工学コース	医療福祉工学コース	全体
		品川	荒川	品川	荒川									
1	授業時間外でもこの科目の勉強をするように努めた(復習など)	3.19	3.36	2.86	2.92	3.09	3.02	3.19	3.25	3.21	3.26	3.37	3.21	3.11
2	授業中、勉強をしやすい雰囲気があった	3.33	3.41	3.29	3.22	3.3	3.16	3.47	3.39	3.45	3.45	3.46	3.36	3.34
3	授業の仕方が明瞭でわかりやすかった	3.21	3.4	3.31	3.36	3.22	3.07	3.36	3.24	3.37	3.41	3.38	3.3	3.29
4	板書や掲示資料は見やすかった	3.32	3.46	3.34	3.38	3.28	3.12	3.44	3.27	3.36	3.41	3.39	3.33	3.34
5	授業の中で授業内容、評価方法等(シラバス)についての説明があった	3.84	3.83	3.84	3.88	3.81	3.78	3.92	3.88	3.94	3.95	3.9	3.92	3.86
6	授業内容や評価方法はシラバス通りであった	3.58	3.64	3.55	3.59	3.45	3.4	3.65	3.58	3.61	3.55	3.58	3.62	3.56
7	総合的にこの授業には満足できた	3.27	3.44	3.32	3.41	3.23	3.14	3.39	3.31	3.36	3.39	3.39	3.31	3.32
8	教科書・プリントは役に立つ教材であった	3.39	3.59	3.43	3.52	3.32	3.25	3.42	3.41	3.45	3.45	3.44	3.41	3.42
9	この授業によって、この科目に対する力がついた(達成感があった)	3.26	3.38	3.18	3.26	3.18	3.08	3.31	3.28	3.33	3.35	3.34	3.26	3.25
10	教員は学生の方に視線を向けて話していた	3.5	3.56	3.52	3.55	3.39	3.34	3.6	3.48	3.55	3.49	3.56	3.49	3.5
11	この授業によってその関連する教科に興味や必要性を感じる事ができた	3.34	3.48	3.25	3.33	3.29	3.18	3.44	3.39	3.46	3.38	3.47	3.43	3.34

表2 実技・実習系科目の授業評価アンケート結果

質問番号	質問内容	科目分類												
		一般科目(理系) 〔該当なし〕		一般科目(文系) 〔体育〕		機械 工学 コース システム	生産 工学 コース システム	電気 電子 工学 コース	電子 情報 工学 コース	情報 通信 工学 コース	ロボ ット 工学 コース	航空 宇宙 工学 コース	医療 福祉 工学 コース	全体
		品川	荒川	品川	荒川									
1	実技や実習に遅刻することなく積極的に取り組んだ	0	0	3.61	3.69	3.65	3.54	3.77	3.66	3.77	3.42	3.74	3.89	3.65
2	実技や実習にふさわしい服装で臨んだ	0	0	3.73	3.75	3.68	3.6	3.69	3.71	3.77	3.45	3.74	3.97	3.71
3	教員は装置や器具の使用方法を適切に指導していた	0	0	3.64	3.56	3.67	3.58	3.64	3.65	3.79	3.48	3.71	3.94	3.64
4	提出した課題等に対して十分なコメントが返ってきた	0	0	3.39	3.4	3.58	3.34	3.59	3.63	3.74	3.21	3.61	3.86	3.47
5	授業の中で授業内容、評価方法等(シラバス)についての説明があった	0	0	3.84	3.89	3.95	3.97	3.92	3.92	4	3.91	3.88	4	3.89
6	授業内容や評価方法はシラバス通りであった	0	0	3.68	3.66	3.69	3.56	3.67	3.75	3.81	3.55	3.69	3.91	3.68
7	総合的にこの授業には満足できた	0	0	3.45	3.47	3.59	3.45	3.43	3.56	3.79	3.27	3.6	3.77	3.5
8	教科書・指導書は役に立つ教材であった	0	0	3.21	3.25	3.63	3.44	3.48	3.56	3.8	3.45	3.63	3.83	3.39
9	この授業によって、自分の技術力・能力が上がったと感じた	0	0	3.23	3.29	3.55	3.39	3.26	3.55	3.7	3.18	3.58	3.66	3.36
10	教員は学生の方に視線を向けて話していた	0	0	3.59	3.57	3.64	3.52	3.61	3.71	3.79	3.48	3.67	3.83	3.61
11	この授業によってその関連する教科に興味や必要性を感じる事ができた	0	0	3.27	3.3	3.59	3.48	3.46	3.64	3.73	3.39	3.63	3.79	3.42

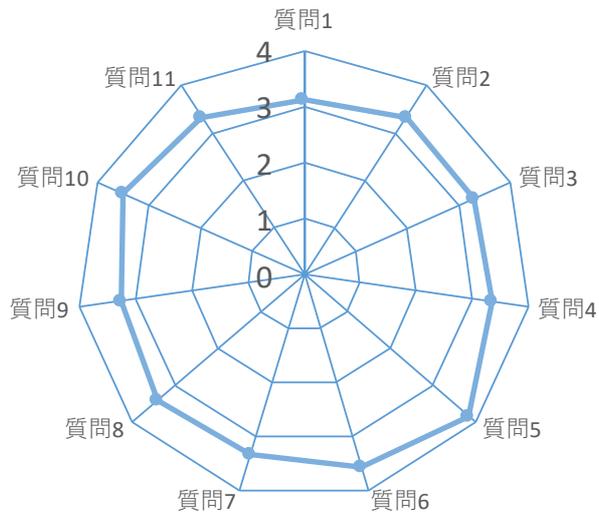


図1 各質問項目に対する評価結果[本科全体]【座学系】

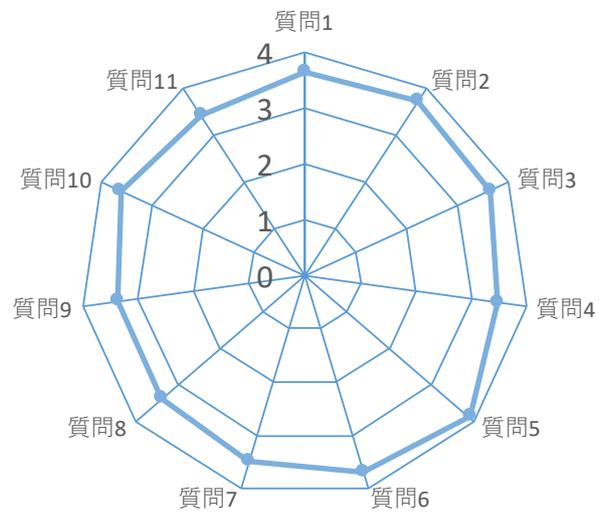


図2 各質問項目に対する評価結果[本科全体]【実技・実習系】